

# c.com

## CONTENTS

巻頭メッセージ	1
特別インタビュー	2
ヒバクシャ国際署名を前に学習会	6
トピックス	7
事務局だより	10

1.2020/vol.75



平和とより良き生活のために

広島県生活協同組合連合会



# ローマ教皇のメッセージと 協同組合の使命

広島県生活協同組合連合会 代表理事長 岡村 信秀

新年明けましておめでとうございます。

本年は、被爆七十五年という節目の年。被爆の実相と核兵器廃絶を訴え続けてきた被爆者の声が世界を動かし、二〇一七年七月、国連で「核兵器禁止条約」が採択されました。国際社会は核兵器廃絶に向け大きく動き出し、現在三十五カ国が批准し（一月二十三日）、条約発効は時間の問題となつてきました。

しかし、核保有国とその同盟国は「核抑止論」を根拠に条約に背を向け、米ソ間で締結していた中距離核戦力（INF）廃棄条約は失効し、現段階は米ロ中を軸とした複雑な霸権力学が世界を席巻し始め、新たな軍拡競争を再燃させるという『新冷戦』の時代を迎えていました。

また、近年は、地球温暖化を背景に世界各地で異常気象と大規模自然災害が相次ぎ発生し、住民への甚大な被害と生態系の崩壊をもたらしています。地球温暖化の主たる要因である二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）は増加を続け、二〇一八年の世界のCO<sub>2</sub>の排出量は過去最高を記録しました。人類存亡の危機に直面している今日、CO<sub>2</sub>の大削減と再生可能エネルギーの拡充が待ったなしの課題となっています。

貧困と格差も加速度的に拡大しています。世界では五歳の誕生日を迎えることなく死亡する子どもが年間約四十万人、そして約二十一億人が安全に管理された飲み水を使用できていません（ユニセフ報告）。子どもの生存や成長を確保するためには四〇〇～六〇〇億ドルあれば可能だという試算（世界銀行）がある一方、一〇一八年度の世界の軍事費の総額は一兆八二二億ドル（前年比一〇四・八%、約一〇〇兆円）に達しています。総軍事費の約三%で子どもの生存確保が可能となり、軍拡による平和構築の倫理性が根源的に問われています。

今私たちは現状を見過すのか？勇気を出して一步前に邁進することを決意し挨拶いたします。

踏み出すのか？大きな岐路に立たされています。

そのような中、昨年十一月、ローマ教皇が来日し、被爆地ナガサキ・ヒロシマ、そして東日本大震災の被災地を訪問しました。教皇は、被爆者や被災者に寄り添い、人間の尊厳を土台に真理と正義をもつて平和を構築することを訴え、「核抑止論」の誤りを指摘し、人道的・倫理的観点から核兵器禁止条約を支持しました。被災地では原発のリスクにも触れ将来のエネルギー源に対して勇気ある決断の必要性にも言及しました。また教皇は何百万という子どもや家族が、人間以下の生活を強いられていることと、武器の製造、改良などに財が費やされ、一層破壊的ななっていることも指摘しました。このように教皇の根源的なメッセージは多くの日本人に確信と勇気を与えた。

ローマ教皇のメッセージと重なるのが「持続可能な開発目標（SDGs）」です。SDGsは、二〇一五年九月、ミレニアム開発目標（MDGs、平和、安全、環境、人権など）を受け継ぐ新たな国際目標として採択されました。「誰ひとり取り残さない」ことを理念に、公平、平和、気候変動、貧困など十七の目標を設定。新冷戦、気候変動、貧困など平和と人類の存亡、人間の尊厳が脅かされて現在、協同組合に関わる私たちは、将来に禍根を残さないためにもSDGsを事業や活動の基本軸に据え、根源的で真理と正義をもつて課題を遂行することが求められています。特に被爆地ヒロシマで活動する私たちは、平和と連帯を土台に、地域資源を管理し浪費や環境破壊を最小限におさえた持続可能な「地域循環型の社会経済システムの形成」に最善を尽くすことが要請されます。

新しい年を迎えるに当たり、改めてローマ教皇の力強いメッセージとSDGsを基本軸に据え、事業や活動に邁進することを決意し挨拶いたします。



## ・・・・・ 特別インタビュー ・・・・・

2020年は被爆75年目であり、NPT再検討会議が開催される年でもあります。

ヒロシマにとって節目の年に公益財団法人 広島平和文化センター小泉 崇理事長に、

2019年の振り返りとNPT再検討会議への思いをお伺いしました。

インタビュアー

広島県生活協同組合連合会

高田 公喜  
専務理事

1958年6月28日広島県生まれ。  
1980年生協ひろしま入協、共同購入事業部長、  
経営企画室長、福祉事業部長などを歴任。  
2006年から  
日本生協連福祉事業推進部部長として出向し、  
広島帰任後、生協ひろしま常務理事を経て  
2013年より現職。

公益財団法人 広島平和文化センター

小泉 崇理事長



1951年生まれ。1976年外務省入省。  
在米国日本大使館・一等書記官、  
経済協力局開発協力課課長補佐、欧亜局中・東欧課課長補佐、  
経済協力局民間援助支援室首席事務官、  
大臣官房監察査察室首席事務官、  
在東ティモール日本大使館・参事官、  
国際協力局国際緊急援助室長、大臣官房地方連携推進室長、  
大臣官房福利厚生室長、  
ブルガリア共和国駐箚日本国特命全権大使を経て、  
2016年8月外務省退職。  
2019年7月（公財）広島平和文化センター理事長就任（現職）。

## フランシスコ・ローマ教皇 来広が与えた影響

高田：二〇一九年を振り返った時、ヒロシマにとつて一番大きな出来事はフランシスコ・ローマ教皇（以下、本文中ロー・マ教皇）の訪問ではなかつたかと思ひます。平和記念公園での「戦争のために原子力を使用することは、現代において、犯罪以外の何ものでもありません。（中略）原子力の戦争目的の使用は、倫理に反します。核兵器の保有は、それ自体が倫理に反しています。」というスピーチは、核兵器禁止条約に背を向けようとしている核保有国に対し、非常に強いメッセージとなつたのではないか。

小泉：私は来賓として出席させていただきました。夜半、静寂かつ厳肅な雰囲気の中でローマ教皇が被爆者一人ひとりを励まされ、真摯に証言を聞かれていた姿が目に焼き付いています。

長崎では主に「相互不信」について言及されました。ヒロシマでは「戦争目的の原子力の使用は倫理に反する」とをスピーチされました。そこに大きな意味を感じました。

小泉：被爆地ヒロシマで、メッセージを発信した意味は大きいと思います。

高田：抑止力の問題についても、言及されました。

まるで通常兵器のように「使える核兵器」という言い方をする為政者や、核の拡散、テロ集団に核がわたつてしまふ可能性など核をめぐる問題が山積ですが、どのようにお考えですか。

小泉：昨年十一月にジュネーブで、軍縮・国連の関係者といろいろ話をしました。

冷戦期のピーク時に七万発を数えた核兵器ですが、ストックホルム国際平和研究所の推計によれば、二〇一九年一月時点で一万四千発近くまで減少しました。しかし、反面、極超音速戦略兵器や高高度核爆発兵器の開発など、核兵器の近代化、高性能化、多様化の傾向が見られます。こうした動きに関係者が強い危機感をもつています。

平和文化センターの理事長に着任してから、被爆者の方と話す機会が多くなりました。直接お話し感じたのは、被爆者の高齢化によって体験が風化することへの危惧でした。

ローマ教皇の言葉で、もう一つ印象に残っているのが「記憶することの重要性」です。つまり記憶することは『守る』ことである、と。記憶していくことは、非常に大変な作業ですが、それをたゆまず続けていくことが重要だと思っています。私たち市民にできることは、被爆者の思いを伝え、広めていくことではないでしょうか。

核廃絶には、最終的には核保有国の為政者の意識を変えていくことが不可欠です。そこへ被爆者一人ひとりの声をどう届けていくか。一人の声が大切です。そして皆が声を合わせれば、それが非常に大きな力になつていくことは間違いないと思います。

# 被爆者一人一人の声を 届け続けていくことが ヒロシマの使命

高田：核兵器の廃絶の最前線にいらっしゃる人が感じたと思います。



るのは被爆者の皆さんです。

二年前のニューヨーク国連本部で核兵器禁止条約の採決に向けてさまざまなかつたことは、世界が認めていました。が尽力しましたが、被爆の方々の力が大きかつたことは、世界が認めていました。

核兵器禁止条約は、非人道的な側面から見ても、核兵器はいけないと世界が認識した条約です。この時も、ローマ教皇は「核保有国は条約にサインしない」とのメッセージを発信し、バチカン市国はいち早く条約にサインしました。

現在、核兵器禁止条約に調印した国は八十カ国、批准した国・地域は三十四（二〇一九年十一月現在）を数えますが、どうしたら日本、アメリカは賛同するのでしょうか。

小泉：核兵器禁止条約は成立しましたが、核保有国および核の傘の下にあるカナダやドイツなどNATO加盟国や日本、オーストラリア、韓国なども署名しています。従って、この条約が成立したからといって、直ちに核が廃絶されるわけではありません。しかし、この条約によって、核を保有していることが国際社会において恥ずべきことであるという風潮が生まれることが期待されます。

クラスター爆弾禁止条約や対人地雷禁止条約が採択された時、主だった兵器所有国は署名しませんでした。しかし、条約が成立したことによって実体的に、こ

## 命の大切さを

## ために何をするべきか

近年、核保有国の大都市レベルで核兵器廃絶決議が採択されるようになってきました。自治体の気運を、いかに国へと結び付けていくのかが大切です。

高田：平和首長会議の役割は重要ですね。

小泉：ICAN※1も『ICANシティ・アピール』を開催し、核廃絶に賛同する都市を募っています。国の政策とは一線を画して、都市・自治体が、より市民目線に立ったレベルでの声を糾合していくという動きが活発化しています。

核兵器廃絶には、ウルトラCがあるわけではありません。一方で核兵器使用の危険性が高まっていることは間違いない。時間との勝負でもありますが、粘り強く取り組むしかありません。



広島県生活協同組合連合会  
高田 公喜専務理事

※1・I C A N(核兵器廃絶国際キャンペーン)は、核兵器を禁止し廃絶するために活動する世界のNGO(非政府組織)の連合体。二〇一七年に核兵器禁止条約が国連で成立し、同年ノーベル平和賞が授与される。

## 発効から五十年を迎えるN P Tについて



高田：N P T<sup>※2</sup>には、「核不拡散」『核軍縮』『原子力の平和的利用』の大きな三つの柱がありますが、近年は各國間で合意に達することが難しく、また第六条<sup>※3</sup>の「誠実に核保有国も軍縮に取り組む」ようには思えないような実態もあり、厳しい現実を抱えています。今年のN P T再検討会議をどのように捉えていらっしゃいますか。

※2：核兵器の不拡散に関する条約（略称：N P T）。核軍縮を目的に、アメリカ合衆国、ロシア、イギリス、フランス、中華人民共和国の五カ国以外の核兵器の保有を禁止する条約である。

※3：『核軍縮』において、各締約国による誠実に核軍縮交渉を行う義務を規定する（第六条）

小泉：N P Tは五十年の歴史を持ち、核軍縮において、一番重要な条約であることは間違ありません。しかし核保有国及び核の傘に入っている非核保有国が合意できるものが土台になければ実効することは難しいでしょう。近年、国際的に悲観論や国家間の不信感が増しています。今後、N P T体制そのものが存続していくのかが問われていると思います。

分野は異なりますが、環境問題も待ったなことです。昨年十二月に国連の温暖化防止会議が開かれましたが、人類の生存を脅かす大きな問題にも拘らず、各国の主張がぶつかり合い、なかなか合意に至ることができませんでした。

それは、自國第一主義的な自分たちだけが良ければいいという風潮が生まれていることと、ローマ教皇が言われた相互不信感からなかなか合意に至ることができなかつた、という状況があるのではないでしょうか。このような傾向が続くのもいざれ『分断』という流れになるのではないかと危惧しています。

高田：多国間合意ではなくて二国間での駆け引きが横行しています。この駆け引きに核兵器が使われたら、と恐怖を感じます。国連で採択された条約は、多国間の合意に基づいた厳格なものであるにも拘わらず、それがなかなか履行できない状況というのもどかしく感じます。

小泉：やはり相互不信を、相互信頼に変え

ていく必要があります。

私は『未来の世代』の役割は重要だと考えています。『一人ひとりの人間にとつて大事なものは何だろう』という問いかけから発想してもらいたい。国、民族といつた枠組みを超えて、一人の人間として考え

団体の利益などではなく『命の大切さ』に到達するはずです。それも自分の命だけではない、家族、友人、仲間：みんなの命が大事という共通認識が生まれてこなければ、自分だけ良ければいいということになり、全てのことが不信感につながってしまいます。

高田：不寛容な時代ですね。お互いを認めず、理解しようとせず、ずっと平行線をたどつていくと、国同士の争いに繋がってしまいます。市民レベルでもっと交流するべきですね。

小泉：広島平和文化センターのコンセプトもそこにあります。

相互不信を信頼に変えるためには、お互いの文化を尊重しあい、学び合うこと。広島平和文化センターでは、この理念のもと、さまざまなプロジェクトやプログラムを行っています。この考え方の延長線上にあるのが、平和首長会議です。多様性を尊重しながら、何が大事かという問い合わせをしていくことを目指しています。

高田：これまで数々の条約が国連の場で

検討・採択されましたが、N P Tほど多くの賛同を得たものはありません。それほど関心が高い条約です。

N P T再検討会議には各国の代表が集まりますが、ヒロシマから、どんなことを発信したいとお考えですか？

小泉：被爆者の方々の思いです。「自分たちは悲惨な体験をした。だから他の人は、こんな思いを味わってほしくない」という他者を想う気持ち。つらい体験、悲しい想いを昇華させた究極の『思いやりの気持ち』を伝えていくことがヒロシマの使命です。

この想いを世界中へ発信していきたいと思います。

高田：N P T再検討会議には、毎回、広島県生協連も被爆者の方々に同行してサポートさせていただいています。被爆の悲惨な体験を伝えるためのロビー活動にも被爆者の方々と共に取り組んでいます。

広島県生協連は、ヒバクシャ国際署名の廣島県推進連絡会事務局の一つとして積極的に署名に取り組んでいます。二〇一二〇 N P T再検討会議では、平和首長会議で取り組まれている署名と一緒に議長にお渡しして、さらに強いメッセージを発信できれば、と思います。

これからも連携して、N P T再検討会議の成功、さらには平和の実現を目指していきたいと思います。

本日は、ありがとうございました。

# ヒバクシヤ国際署名を

## 前に学習会を開催 川崎 哲さん講演会開催

日時：二〇一九年十一月二十八日（木）午後一時～  
主催：ヒバクシヤ国際署名広島県推進連絡会  
場所：広島YMC A コンベンションホール



大勢の方が参加し熱心に聞き入る



国内外を問わず多くの方が署名

ICAN国際運営委員 川崎 哲氏  
ICAN International Executive Director Kenzaburo Kawai  
被団協と共に川崎氏（中央）も街頭にて  
川崎 哲氏は初めに、十一月二十四日に広島市を訪れたローマ・カトリック教会のフランシスコ教皇が「核兵器の使用だけでなく保有も倫理に反する」と述べたことに触れ、核抑止は正当化できないと主張しました。また、核兵器禁止条約の意義について、核兵器が非人道的な兵器であることを明言しました。さらに、「核兵器禁止条約の早期発効に向けて、ヒバクシヤの声を届けることが必要である」とことや「日本を核兵器禁止条約に加入させるためには署名が土台となる」と、ヒバクシヤ国際署名の重要性を強調しました。

会場からは「被爆者として何ができるのか」などの質問がありました。この学習会で、核兵器廃絶へのさらなる強い思いを共有することができ、来年のNPT再検討会議に向けてより一層世論を広めていきます。

学習会の前に、川崎 哲氏も参加して、広島平和公園元安橋で街頭署名を行い、十五団体三十二名の参加で一二五筆の署名を集めることができました。（報告：広島県生協連 山下知子）



被団協と共に川崎氏（中央）も街頭にて

准国が三十五カ国となり、核兵器廃絶の機運が高まる中、広島県生協連が事務局を務めるヒバクシヤ国際署名広島県推進連絡会は、ヒバクシヤ国際署名の取り組みを一層前進させ、意気を挙げることを目的として学習会を開催しました。講師にピースポート共同代表、ICAN国際運営委員 川崎 哲氏を迎えて「核兵器禁止条約で世界を変える」と題して講演いただきました。参加者は、当連絡会加入団体や一般の方など約100名となりました。

川崎 哲氏は初めに、十一月二十四日に広島市を訪れたローマ・カトリック教会のフランシスコ教皇が「核兵器の使用だけでなく保有も倫理に反する」と述べたことに触れ、核抑止は正当化できないと主張しました。また、核兵器禁止条約の意義について、核兵器が非人道的な兵器であることを明言しました。さらに、「核兵器禁止条約の早期発効に向けて、ヒバクシヤの声を届けることが必要である」とことや「日本を核兵器禁止条約に加入させるためには署名が土台となる」と、ヒバクシヤ国際署名の重要性を強調しました。

## 2020NPT再検討会議で 平和のアピールを！

2020年4月～5月にニューヨークで開催する「2020NPT（核不拡散条約）再検討会議」に広島県生協連から派遣する方を紹介いたします。今回のNPT再検討会議は、発効から50年という節目の年であり、世界的に注目されています。派遣者は、日本被団協代表団の被爆者の方をサポートしながら、被爆の実相を広げる活動（被爆の証言、国連原爆展など）を行い、国際社会に組合員の声を届け、核兵器廃絶を訴えるアピール活動を行います。

【2020NPT再検討会議派遣者】広島県生活協同組合連合会 高田 公喜専務理事 / 草野 みどり理事

# 2019年因島生協協同組合まつり

とき 2019年10月27日(日) ところ 因島アメニティ公園(尾道市)  
主催 日立造船因島生活協同組合

10月27日(日)、因島アメニティ公園において2019「協同組合まつり」を開催しました。

前日に雨が降り、開催が心配されました。が、当日は秋晴れとなり、大勢の組合員さんや地域の方々が来場され、大いに賑わい楽しんでいました。

お昼頃になると各地区家庭会模擬店は、美味しい匂いに誘われて、多くの方で長蛇の列になりましたが、応援に駆け付けていただいた家庭会の皆さん、手際よく対応していました。また、因島総合病院のブースでは、「骨密度測定」「健康相談」を行い、次々と測定や相談に来られました。生協協力会による即売会も大好評でした。ほかにも、ゲームや抽選会も行われました。フットサル会場では小学生的選手たちが、ご家族やチーフメイトなどの声援を受け、日頃の成果を発揮し、元気いっぱいピッチを駆け回っていました。

短い時間でしたが、組合員、地域の皆さんとの交流を深めることができ、大変有意義な一日となりました。

(報告:因島生協 村上雅一)



家庭会の模擬店



骨密度測定と健康相談



グラウンドを駆け回る子どもたち



親子で楽しんでいました

# 介護の日フェスタin広島開催!

とき 2019年11月9日(土)・10日(日) ところ 広島県立総合体育館  
主催 広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会  
共催 広島市、一般社団法人日本福祉用具供給協会中国支部  
広島県ブロック

広島県生協連が委員を務める広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会は、11月9日(土)10日(日)、広島県立総合体育館において「介護の日フェスタ」を開催し、2日間で11262人(1日目2829人、2日目8433人)が来場しました。今回は、高齢者だけでなく若い方も興味を持つて参加いただけるような企画を盛り込み開催しました。

昨年から「福祉用具フェア」との共同開催とし、今年は福祉・介護関連企業98社が出展しました。来場者は、最新の福祉・介護用品などに興味・関心をもつて展示を見たり体験していました。

また、「広島介護ロボットフレーム」との併催では、介護ロボットの導入や活用についての紹介があり、大変好評でした。特設ステージでは、「おしゃりたんてい」ショーを2回開催し、多くの親子が楽しんでいました。

また、今年はセミナーを10会場に増やし、認知症や働き方改革について、介護技術など幅広いジャンルで講演を行いました。



展示場で、車いす体験をする参加者

リーマーケット、福祉車両の展示などがあり、多くの方で賑わっていました。広島県生協連は、お茶・ジュース・コーヒーを販売しました。また、生協ひろしまのグループ会社である(株)ハートランドひろしまからは、旬の農作物の試食と販売を行い大変好評でした。参加者からは、「勉強になった」「楽しかった。」という声があり、今後も多くの方に介護について考え方体験できる催しとして開催していきます。

(報告:広島県生協連 山下知子)

# 応急仮設住宅にお住まいの方へ 年末商品をお届け！

とき 2019年12月26日（木）～27日（金）

ところ 広島県内4カ所  
主催 広島県生協連

西日本豪雨災害から1年半が経過しましたが、未だに応急仮設住宅にお住まいの方が100世帯以上います。広島県生協連では、発災直後から支援物資の提供やボランティアセンターの運営スタッフ、看護師、ボランティア等の派遣、また広島県へ義援金の贈呈や、被災者の健康チェック、県外の生協と協力して炊き出しをおこなう等、被災者に寄り添う活動を行つてきました。

新しい年を新たな気持ちで迎えていたために、12月26日、27日の両日、県内4カ所（安芸郡坂町、呉市天応地区、安登地区、三原市本郷）の応急仮設住宅にお住まいの被災者に、生協のお餅（平餅、あん餅）、広島県産みかん、折り鶴カレンダーを、昨年に続き今年もお届けしました。

集会所でお待ちの方々には挨拶の後、お渡しし、集会所に来られなかつた方には、1軒1軒訪問して手渡ししました。  
仮設住宅にお住まいの皆さんからは、「餅を買わなくて済んだ。助かります。」「これで年が越せる。」  
「来てくれるることは本当に嬉しい。」



笑顔の皆さん



商品を渡す岡村会長

「ありがとう。」「昨年に続いて今年も来てくれて本当にうれしい。」等、笑顔で喜んでいただきました。近くに住むお孫さんと一緒に食べるのが楽しみとお孫さんと一緒に来られた方もいました。

ほんの心ばかりの品ですが、皆さんの笑顔が見られて、本当に良かったと思います。

（報告：広島県生協連 福島守）

## 岩手県郷土料理「ひつつみ」で笑顔の交流 ～いわて生協・生協ひろしまが西日本豪雨災害被災地で炊き出し支援～

とき 2019年12月5日（木）

場所 岩手県天応大浜 仮設住宅

2019年12月5日、いわて生協同組合（岩手県滝沢市）の組合員と職員5名が、西日本豪雨の被災者が身を寄せる呉市天応大浜の仮設住宅を訪れ、岩手県の郷土料理の「ひつつみ汁」を振る舞いました。支援活動には生協ひろしまの組合員の他、「広島お好み焼き隊」として岩手県の被災地を訪問したメンバーも訪れ、「ひつつみ汁」作りに参加。約60杯を振る舞いました。

（報告：生協ひろしま 大山敏明）

## 台風19号で被災した長野市へ支援スタッフを派遣！

主催 広島県生協連

2019年10月、台風19号は関東・東北地方に甚大な被害をもたらし、リンゴの産地として有名な長野市は、一大リンゴ産地が壊滅するほどの被害が発生しました。長野県生協連では日本生協連を通じて、全国の生協に支援を呼びかけ、広島県生協連は昨年、全国の生協に支援いただいた恩返しになればと、支援スタッフを派遣しました。

支援内容は、長野市災害ボランティアセンター本部で電話やメール等による生活支援（避難所で炊き出しをしたい、体操など実施したい等）から避難所へのマッチング対



被害を受けたリンゴ園

応、避難所の状況把握、炊き出し実施状況の確認等。主には電話対応と避難所を回り、地元NPOの方と連携して避難されている方に寄り添った支援を行いました。

長野市の復興はこれから。一日でも早い復興をお祈りします。

（報告：広島県生協連 福島守）

した。ひつつみ汁は、小麦粉で作った団子を薄くちぎった「ひつつみ」と、野菜、キノコが入るしようとベースの汁で、入居者のみなさんには作り方を聞くなどしながら、おいしそうに味わっていました。「優しい味でおいしかった。今まで温まつたよ」と、笑顔と会話がひろがる交流が行われました。

（報告：生協ひろしま 大山敏明）

# 広島県へ2020年度に向けた要請を行いました。

とき 2019年11月1日(金)

ところ 县厅環境県民局長室

主催 広島県生協連

広島県生協連は、2019年11月1日、広島県厅環境県民局長室にて広島県に対して2020年度に向けた要請（環境県民局長懇談）を行いました。

広島県生協連は毎年、広島県に對して政策的な要請と行動を行っています。今年は、森永智絵環境県民局長はじめ小川元史県民生活部長、佐伯美香消費生活課長、各部署から総勢15名の方にご出席いたきました。

最初に、要請書の受け渡しを行いました。要請書を受けて森永局长より、日頃の県行政への協力、昨年の7月豪雨災害支援活動に対して感謝と、広範囲に渡つて消費者の暮らしに貢献していること、包括連携協定に基づくさらなる連携をご挨拶をいただきました。

双方の出席者の自己紹介に続いて、高田専務理事より7分野（地域福祉・介護・医療・地域包括ケア、貧困と格差、消費者行政、災害対策・防災、平和行政推進、食の安全・安心、環境・エネルギー）21の要請項目の趣旨説明をおこないました。その後、出席した広島県から全要請項目に対して丁寧な回答があり、今後の連携推進について確認しました。回答は、担当部局内で協議、

確認後、回覧いただき、近年の信頼の深さを感じています。

森永局长から、予定の時間を超過しているにも関わらず時間を取つていただき、「多岐に渡つて生協独自の視点からの要請は、なるほどと納得性があり、違つた角度でみることは大変勉強になります。特に「自立した消費者」とは「生き抜く力を持つこと」との言葉と共に感しました。県議会の種子法に対する公聴会に消費者代表として出席し、命に関わる問題であると指摘したことは、我々の代表と言えます」と、生協への信頼のコメントをいただきました。

最後に、高田専務理事から、森永局长、小川元史様と広島県消団連会長前田幸子様より挨拶がありました。

最初に主催者挨拶では、広島県県民生活部長小川元史様と広島県消団連会長前田幸子様より挨拶がありました。

広島県生協連が事務局を務める広島県消費者団体連絡協議会（以下、広島県消団連）は、11月25日（月）にサテライトキャンパスひろしまにおいて、広島県（消費生活課）と共に、150名が参加して「消費者のつどい2019」を開催しました。



講演する高橋佳良子氏

# 消費者のつどい2019を開催！

とき 2019年11月25日(月)

ところ サテライトキャンパスひろしま

主催 広島県消費者団体連絡協議会

に、「人生100年時代の暮らしとお金の心の持ち方と暮らし方で豊かに」とテーマに、ご講演いただきました。

続いて広島県消団連構成団体の活動報告は、廿日市市消費者協会事業活動報告があり、NPO法人消費者ネット広島木村豊理事長より、適格消費者団体の紹介と「消費者団体訴訟制度」について報告がありました。

記念講演は、ファイナンシャル・プランナーの高橋佳良子氏を講師

として、豊かな心の持つ方をしたいか、お墓はどうしたいか等の意思表示をしておくこと。その際、保険の内容を把握しておくこと。また、自分がどんな看取られ方をしたいか、お墓はどうしたいか等の意思表示をしておくこと。など、すぐに役立つ話がたくさんありました。参加者は興味津々に講演を聞き入っていました。

参加した各消費者団体の会長さんからは、是非自分の所属する団体でも講演を頼みたいと、とても

好評でした。

（報告：広島県生協連 福島守）



## 雪山に行こうやあ！

広島県には、11のスキー場があり、本格的な長距離コースから初心者向けのコースまで多彩なコースがあります。また、スキーやスノーボード、ウェアなどはスキー場で借りられるので少ない荷物で、気軽に遊びに行けます。さらに、広島市内（広島駅・広島港など）や福山駅などから、スキーツアーバス※も運行されており、遊び疲れや雪道の運転の心配もなく、安心して家族や友達同士でスキー場まで行って帰ることができます。（広島マリーナホップ経由便や福山ビッグローズ経由便は、これらの施設の無料大型駐車場も利用可能）※要予約。広島発着便：広交観光☎082-207-0001、福山発着便：中国トラベル福山支店☎084-940-3344



### ■とってもお得！こどもデー

第1・3土曜日は「こどもデー」企画として、こども限定のおトクなリフト券割引やファミリー向けイベントが各スキー場で開催されます。このほか、各スキー場では、スキー・スノーボード以外にも、ソリ滑りやスノーシューでの雪上ウォーキング、大迫力のスノーラフティングなど様々な雪遊びが楽しめます。



### ■多彩なイベント

各スキー場で多彩なイベントが開催されるので、上級者はもちろん、小さなお子様も楽しめます。

- ・2月8日（土）、2月9日（日）芸北高原大佐スキー場「ペンギンデー」
  - ・2月1日（土）恐羅漢スノーパーク「恐羅漢節分祭」：節分雪投げ鬼退治、節分福餅つきなど。
  - ・3月7日（土）、3月8日（日）ひろしま県民の森スキー場「ムーンライトウォーク」：月夜に雪上ウォーキング
- そして、今シーズンは、県内スキー場3か所をめぐってスタンプを集めると、抽選で地元特産品が当たる「スキー場スタンプラリー」も開催中！

### ■広島県内のスキー場情報はこちらをチェック

これらについて、詳細は、広島県スキー場情報サイト「ひろしまHOT! SNOW」で検索を。

広島 ホットスノー



広島県スキー場情報サイト

**ひろしま  
Hot! Snow**



お問合せ／広島県観光課 ☎082（513）3398

## 「消費者トラブルの手口を知りましょう」⑯

近年、振り込め詐欺やインターネットを悪用した詐欺などの被害が後を絶ちません。消費者トラブルは身近なところに存在しています。情報を知り、被害にあうことがないよう、また被害にあったときの対処法について、日頃から備えておきましょう。

### <「アポ電」かも… 知らない番号からの電話に出るのは危険>

(2019年3月19日 独立行政法人国民生活センター 見守り新鮮情報第333号より)



テレビの制作会社を名乗る人から電話があり、「所得は500万円より上ですか」などと聞かれたが、「答えられない」と言って電話を切った。後日警察の協力団体を名乗る者から、「テレビ番組に関して電話がなかったか。捜査で押収した名簿に名前が登録されている」という電話があった。(70歳代 女性)

★実在する機関や企業、家族をかたり、家族構成や資産状況等を聞き出そうとする「アポ電」と思われる電話に関する相談が寄せられています。

★着信番号通知や録音機能を活用し、誰からの電話か分かった上で電話に出るなどしてトラブルを避けましょう。

★心当たりのない着信に出てしまった場合も、「○○です」と自分の名前を名乗らないことが大切です。

家族構成や資産状況を聞かれたら、会話を継げず、すぐに電話を切ってください。

★特に高齢者等に対しては、家族はもちろん地域でも、身近な人を見守り、様子の変化などに気をつけましょう。

★不審な電話があったら、すぐに警察や消費生活センター等にご相談ください(警察相談専用電話「#9110」、消費者ホットライン「188」)。



## 第4回理事会報告

■開催日：12月5日（木） ■出席 理事：18名中 18名出席

### □決議事項

- ・2020年度通常総会について
- 協議事項
- ・西日本豪雨災害被災者の対応について

### □報告事項

- ・他団体の公職承認の件
- ・2020年NPT再検討会議への派遣について
- ・2019年台風19号被害の対応について
- ・行政等への政策提言活動報告
- ・2020年新春のつどいの開催要項
- ・2019年度上期決算・上期監査報告
- ・2019年度県連生協ゼミナール開催報告

## 広島県生活協同組合連合会

〒730-0802 広島市中区本川町2-6-11 第7ウエノヤビル5F

TEL:082-532-1300 FAX:082-232-8100

e-mail:kenren.h@proof.ocn.ne.jp URL:<http://hiroshima.kenren-coop.jp>

### 編集後記

今年は、ヒロシマ・ナガサキに原爆が投下されて75年目を迎えます。また、発効から50年となるNPTの再検討会議が開催されます。世界が注目している中、核兵器廃絶への道筋を確実に進めていかなければなりません。今後、被爆者の高齢化が進む中、被爆の実相を継承する手立てを講じていくことが求められています。戦争も核兵器もない平和な世界の実現に向けて、私たち一人一人が考え、行動し連帯する年にしていきましょう。(山下)

高梨臨  
ろうきんイメージモデル

けっこう使ふる  
にから おすすめ!

## 消費税増税の今だからこそ、 「家計の見直し」を 考えてみませんか？

住宅ローン・生活費・車・教育費を  
ひとつにまとめませんか？



Aさんの  
返済中の  
ローン

- 住宅ローン 毎月返済 73,880円
- 自動車ローン 每月返済 33,145円
- カードローン 每月返済 20,000円

毎月返済額合計 127,025円



住宅ローン以外にも車や  
カードローンの返済で毎月大変…。  
これから子どもも大きくなるし、  
貯蓄もしたいけどむずかしいな…。

Aさんが毎月  
返済している  
 127,025円を  
<ろうきん>住宅ローンで  
借換えると

返済中のローン、ぜんぶまとめて！

住宅ローン  
毎月返済額 87,843円に！

<ろうきん>に借換えたら、  
返済額を 39,182円\*も  
おさえられたよ！  
その分、貯蓄にまわせるわ！



// <ろうきん>住宅ローンなら、他金融機関等の各種ローンを  
ひとつにまとめることができます！ //

<ろうきん>住宅ローンは、  
住宅購入資金とは別に  
最高500万円まで  
ご融資！



金利の低い住宅ローンで  
各種ローンをまとめる  
返済管理がシンプルになり、  
返済にゆとりが  
生まれます！

\*現在ご利用中のローン（住宅ローン金利年1.28%、残存期間33年（396回）、残債約2,386万円 自動車ローン金利年6.00%、残存期間5年（60回）、残債約172万円 カードローン金利年14.50%、残存期間8年（96回）、残債約100万円）に借換費用約23万円を加えた2,681万円を<ろうきん>有担保住宅ローン全期間固定金利型 金利年1.65%（保証料込み）元利均等毎月返済、返済年数33年（396回）にまとめて借換えた場合で算出。

\*「住宅ローン」とは「有担保住宅ローン」をいいます。 \*審査の結果、ご融資できないなど、ご希望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。  
※くわしい説明書が必要な方は店頭へお申し出ください。

(2019年12月1日現在)

住宅ローンが組めるか  
早く知りたい！という方は今すぐ！

サクッと  
カンタン！  
今すぐスマホから！  
もちろん、パソコンからも  
仮申込み可能！  
中国ろうきん



まずは、相談したい！という方は、  
お客様に合った返済プランをご提案します！

〒732-0827 広島市南区稻荷町1-14

中国労働金庫 ローンセンター広島中央

0120-36-4160

【営業時間】平 日／9:00～18:00

土曜日曜／9:00～16:00

【休業日】水曜・祝休日・年末年始